

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 中継親機(WQS525W)を施工するには、電気工事士の資格が必要です。使用する場合は、お買い上げの電気店へ相談してください。
- 施工後、必ず施工主に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡ください。
- 取扱説明書の保証書欄に必ず必要事項を記入してください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	WQS522W	WQS5229W
●取付木ネジ(4×20)	2本 (予備2本)	親機用……………2本 カメラ付 ドアホン子器用…2本
●位置決めゲージ		1枚
●松下電工お客様相談窓口一覧表		1枚
●取扱説明書(保証書付)		1冊
●施工説明書(本紙)		1枚

安全上のご注意

警告

- 親機・中継親機側の電源(AC100V)を切った状態で施工してください。活線工事は感電や故障の原因となります。
- 親機・中継親機は、水や雨のかかる場所(屋外など)および湿気の多い場所(浴室など)には設置しないでください。感電の原因となります。
- 小勢力端子にAC100V用電源線を接続しないでください。発火・発煙の原因となります。
- 電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードに家具などの重い物をのせしないでください。火災や傷の原因となります。
- 電源コードは、たばねて使用しないでください。発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
- 商品は、分解しないでください。

注意

- 電源プラグは確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱の原因となります。

- 子器は、らくらくまほかのカメラ付ドアホン子器に各1台ずつ接続してください。
- 中継親機とカメラ付ドアホン子器を接続して、近くに高出力の無線機を接続しないでください。
- 親機とカメラ付ドアホン子器は50cm以上離してください。
- 2線式テレビインターフェイスについては、施工するにあたって必ずお読みください。
- 親機・中継親機は、火災や感電の原因となります。
- 親機・中継親機の近・周囲には、注意して設置してください。
- ブラウン管の破損の原因となります。

配線方法

- 必ず、らくらく玄関番用カメラ付ドアホン子器を使用してください。
- 配線には必ず平行ケーブルを使用してください。(同軸ケーブルは使用できません。)

ご注意

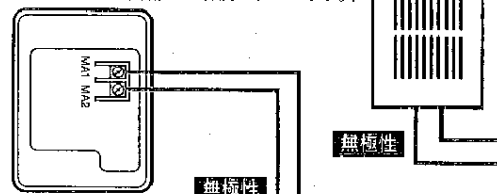
- 増設スピーカーは親機(WQS522W)および中継親機(WQS525W)に各1台ずつ接続できます。

適合増設スピーカー

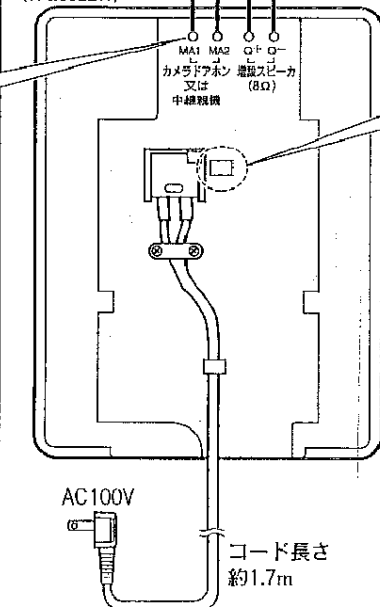
- 増設スピーカー(EC95352)
 - 光る増設スピーカー(WQN970W)
- 光る増設スピーカー(WQN970W)は3台まで接続可能です。ただし、別途AC100V電源が必要です。
- 光る増設スピーカー(WQN970W)を施工するには、電気工事士の資格が必要です。

カメラ付ドアホン子器(WQS700AK)
(WQS5229W(セット品)には付属されています。)

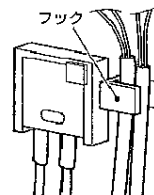
増設スピーカー
(EC95352)(別売)
1台のみ接続可



らくらく玄関番1型親機
(電源コード付)
(WQS522W)



電線が取付金具で傷つけられるのを防ぐため、各接続機器への配線は、結線後、下図のようにフックに引っ掛けてください。



速結端子(小勢力配線)

- ① 電線の被ふくを10mmむく。
 - ② はずしボタンを差し込む。
- より線を使用する場合は、はずしボタンを押しながら差し込んでください。

警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しないでください。発火・発煙の原因となります。

電線のはずし方

はずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。

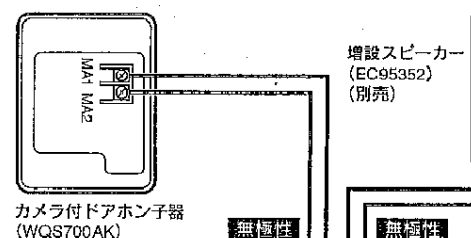
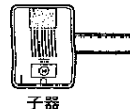
生産終了品

この商品は生産終了につき製造することができません

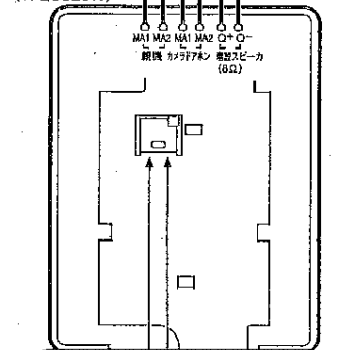
中継親機(WQS525W)

- 中継親機(WQS525W)を施工するには、電気工事士の資格が必要です。使用する場合は、お買い上げの電気店へ相談してください。

- 中継親機とカメラ付ドアホン子器のみでは動作しません。必ず親機を接続してください。
- 中継親機は必ず親機とカメラ付ドアホン子器の間に接続してください。
- 中継親機を増設する場合は、確実にかつ簡単に配線を行うために、親機を移設して、親機が取り付けであった場所へ中継親機を増設することをおすすめします。



らくらく玄関番
1型中継親機
(WQS525W)



生産終了品

この商品は生産終了につき製造することができません

施工上のご注意

カメラ付ドアホン子器を使用してください。
子器は接続できません。

中継親機は親機に1台のみ、増設スピーカーは親機および中
継機のみです。

子器のみでは、正常に動作しません。

正しい。

子器があると映像や音声が入る場合がありますが故障では
ない。

配線の配線を電灯線、電話回線などと平行配線する場合は、

。音声に雑音が入ったり、映像が乱れる場合があります。

制御器(2:2用)(WQS8000)は接続できません。

商品に付属の説明書をよくお読みください。

がある場合は、お買い上げ電気店へ相談してください。

注意

です。屋外には設置しないでください。

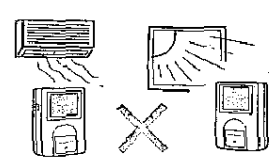
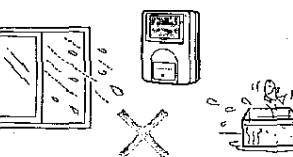
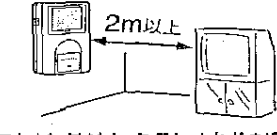
強い磁気が発生するものと映像や音声が入る場合がありま
す。

です。

になりますので落としたり、強い衝撃を与えないでください。

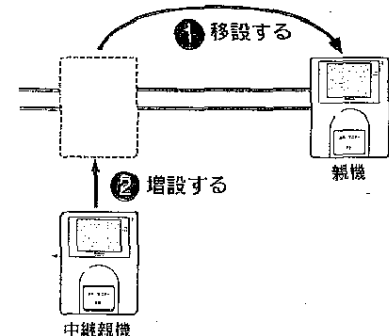
次のような場所には設置しないでください。

(誤動作や故障の原因となります。)

 極端に寒い場所・暑い場所 (冷・暖房の近くや、直射日光のあたる場所)	 ゴミやホコリの多い場所	 水や雨のかかる場所(屋外など) ●感電の原因となります。
 テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く (2m以上離してください。) ●映像や音声が入る場合があります。	 直接湯気のかかる場所 湿気の多い場所(浴室など)	 硫化水素が発生する場所(温泉地など) ●寿命が短くなることがあります。

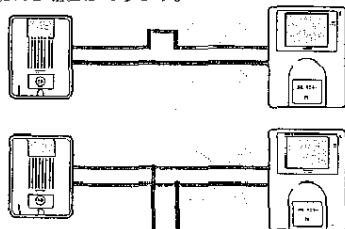
接続する場合

が必要です。

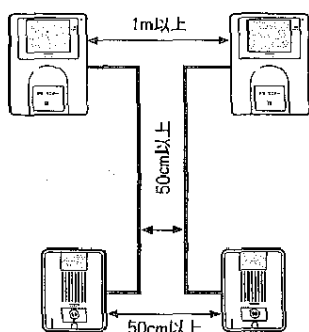


配線上的ご注意

●親機と中継親機間、および親機とカメラ付ドア
ホン子器間に不要な配線がある場合は取り除く
か新たに配線をしてください。また配線をばら
したり、分岐しないでください。映像や音声が入
る場合があります。

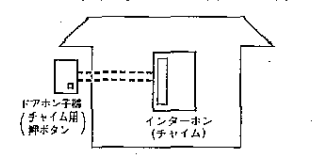


●らくらく玄関番1型のセット
を2組以上使用する場合は
右記のように設置してくだ
さい。
50cm以上離さないと、映像
や音声が入る場合があり
ます。

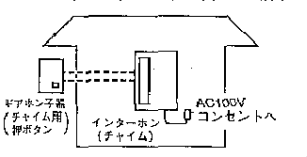


既設のインターホンやチャイムと取り替える場合

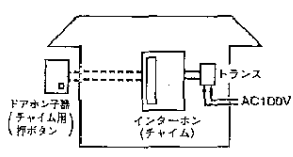
1 乾電池式(インターホンや
チャイム)との取り替えの場合



2 AC100V式(インターホンや
チャイム)との取り替えの場合



3 トランス式(インターホンや
チャイム)との取り替えの場合



●.....の配線はそのまま使用し、電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む。

●既設のチャイムの配線が右図のような場合、
AC100Vがかり商品が故障します。
この配線は使用できませんので新たに配線
をしてください。

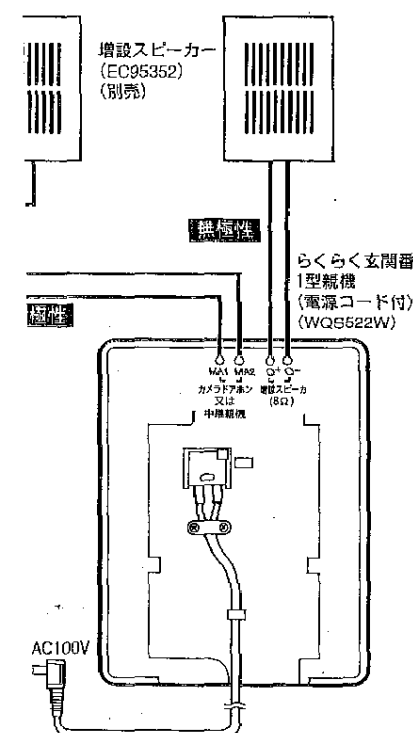
注 3のように、トランス式のインターホンやチャイムとの取り替えは
電気工事士の資格が必要です。電気工事店などに依頼してください。

配線可能距離

配線区間	使用電線	φ0.65 または 0.5mm ²	φ0.9 または 0.75mm ²
親機～(中継親機)～ カメラ付ドアホン子器		50m	100m
親機～増設スピーカー		50m	50m

注 親機とカメラ付ドアホン子器の間に中継親機
を接続する場合でも、親機～カメラ付ドア
ホン子器の総配線長は、50m(φ0.65mm)または
100m(φ0.9mm)としてください。

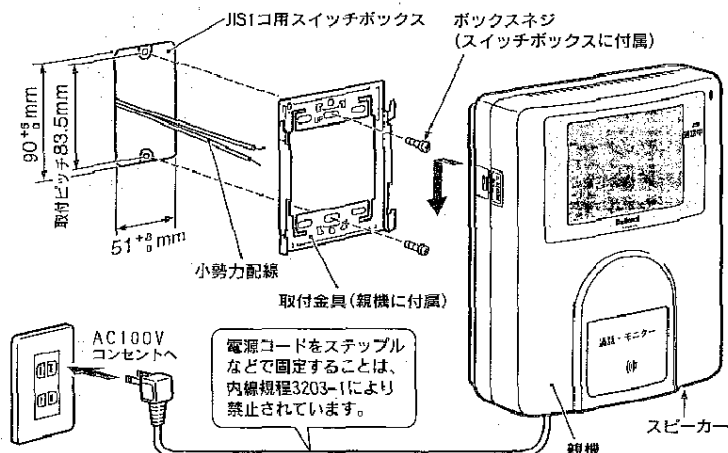
注 結線終了後、断線や接続不十分な部分がないか必ず確認してください。特に配線の途中で電線接続する場合は
ハンダ付処理か圧着スリーブ処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。
(電線をよじっただけでは、接触不足や、長期間使用中に電線表面が酸化、接触不良をおこし、誤動作や動作しないなどの原因となります。)



ボックス取付の場合

ご注意

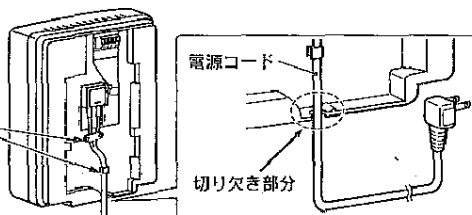
- 下側にスピーカーがありますので、ふさがないように施工してください。
(通話音量の低下およびハウリングのおそれがあります。)
- 取付穴の中心より親機の場合は15mmさがります。
- 商品を取りはずす際、上側にスライドさせる必要があるため、取付金具上側から50mm以内には障害物がない位置に取り付けてください。
- 取付高さは床面より親機中心より、145cmをおすすめします。



■電源コードの引出方法

- 電源コードは必ず切り欠き部分より配線してください。

●注 コード止めから電源コード
をはずさないでください。
(取付金具に、はさみ込む)
恐れがあります。



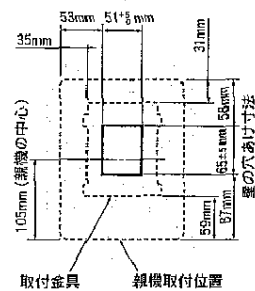
ボックスなし取付の場合

- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ほかの取付方法はボックス取付と同じです。
- 木壁取付の場合、取付金具は付属の取付木ネジ2本で取り付けてください。

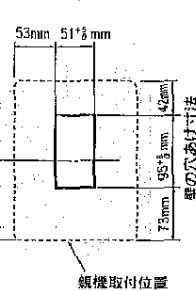
■壁の穴あけ寸法

石膏ボードへの取り付けは脱落を防止するため、必ずはさみ金具(別売)を使用してください。

- 取付木ネジを使用
する場合

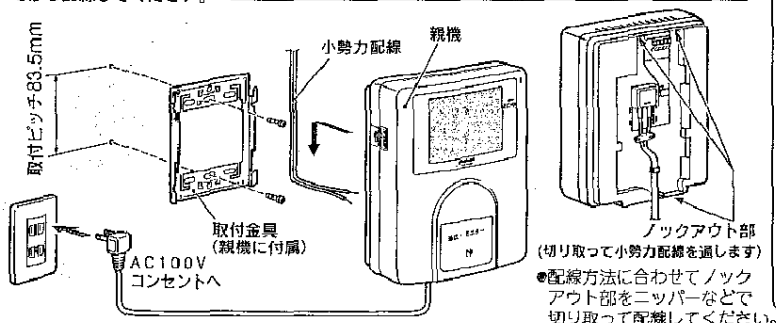


- はさみ金具を使用する場合



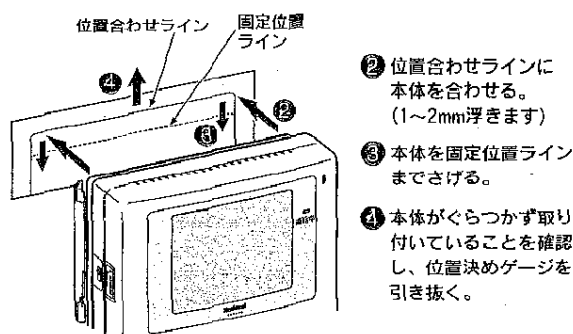
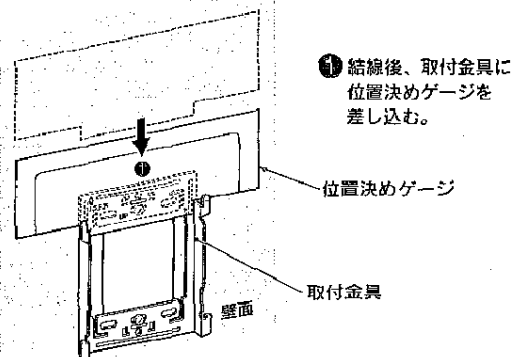
■露出配線する場合

注
配線を取付金具と壁面ではさみ込まないように、必ず取付金具を取り付けてから配線してください。



位置決めゲージの使用方法

位置決めゲージは本体を取付金具に取り付けやすくするものです。位置決めゲージを使用せずに取り付けることもできます。

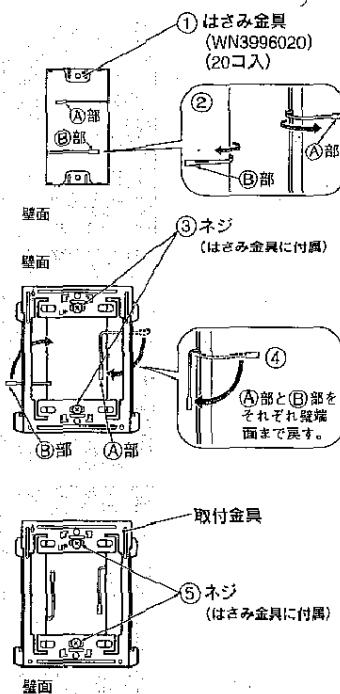


はさみ金具を使用した場合の取付金具の取付方法

（はさみ金具に石膏ボード用取付押え金具（9～30mm壁用）（20コ入）（WN3996020）（別売）をご使用の場合は下記の手順にしたがって施工してください。）

- ①裏側に入れる——
 - はさみ金具を壁面の裏側に
入れる。
- ②仮固定する——
 - ④部と⑥部を手で折り曲げ
壁面に仮固定する。
- ③仮止める——
 - 取付金具とはさみ金具を
ネジ(はさみ金具に付属)で
仮止める。
- ④戻す——
 - 取付金具を左右に寄せ
④部と⑥部を壁端面まで
戻す。
- ⑤ネジで固定する——
 - 取付金具とはさみ金具を
ネジ(はさみ金具に付属)
で固定する。

●注 ①部と②部を取付金具と壁面にはさみ込まないようにしてください。



カメラ付ドアホン子器 (WQS700AK) について

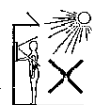
※WQS522W・WQS525Wには付属されていません。

●子器は、らくらく玄関番用カメラ付ドアホン子器を使用してください。
ほかのカメラ付ドアホン子器は接続できません。

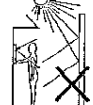
- 風が直接当たる場所、騒音の大きい場所では、通話音がとぎれて聞き取りにくくなる場合があります。
- 50Hz地区では、カメラに直接蛍光灯の光が入ると、映像にチラツキが出ることがあります。蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。
- 水抜き穴をふさがないでください。故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●次のような場所にはなるべく設置しないでください。

(逆光となり、画像が白くなったり、人物が暗くなり訪問者の顔が識別しにくくなります。また直射日光や強い照明の光が入ると、縦に白く線が生じたり、太陽光による反射模様が発生して、映像が見えにくくなります。)



人物の背景に太陽や強い照明がある場合



人物の背景に白い壁などがある場合

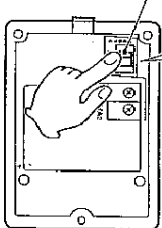


人物の背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関など

角度調整方法

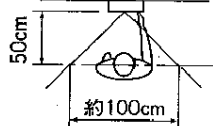
- カメラ角度調整レバーで2段階に調整することができます。
「標準」側：0°
「上向」側：約15°

カメラ角度調整レバー
(出荷時：「上向」側)



カメラに映る範囲

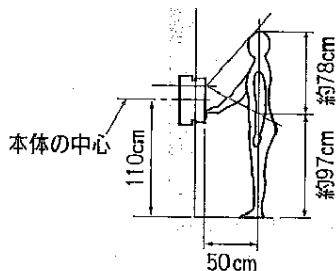
左右



●取付制約上、カメラに映る左右の範囲を調整したい場合は、カメラ角度調整台(左右調整用)(らくらく玄関番・カラー玄関番用)(WQS8020)(別売)を使用してください。

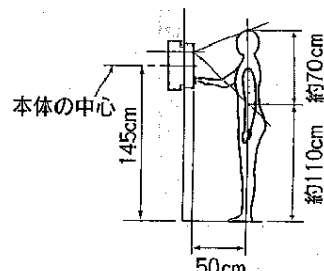
上下

■子器本体の中心を110cmに設置する場合
(角度調整レバー：「上向」側(約15°))



撮像可能身長 約115~175cm

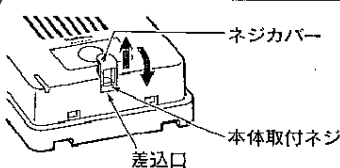
■子器本体の中心を145cmに設置する場合
(角度調整レバー：「標準」側(0°))



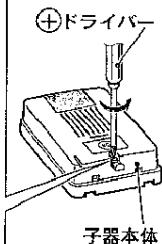
撮像可能身長 約130~180cm

カメラ付ドアホン子器の取付方法

●ベースから取りはずすには……



子器本体下部の差込口に先の細い物を差し込んでネジカバーを引き出し、手前に倒す。本体取付ネジをゆるめて子器本体とベースを分離する。

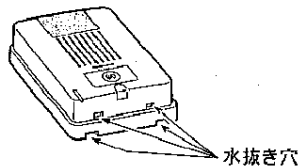


コンクリート壁面取付の場合

JIS1口用スイッチボックス(取付ピッチ83.5mm)に取り付けてください。
(コンクリート構造、土壁構造においては、配管工事を行ってください。)

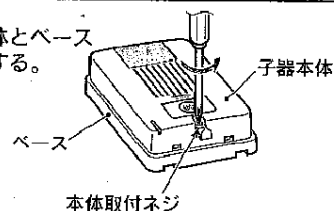
●そのほかは壁面取付と同じです。

注 水抜き穴をふさがないでください。故障の原因となります。

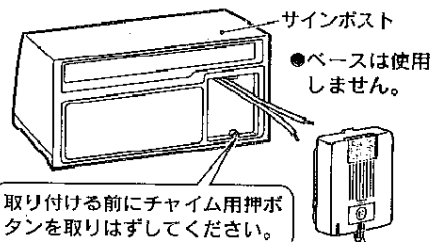


サインポストへの取付の場合

1 子器本体とベースを分離する。



2 結線する。(配線方法を参照してください。)

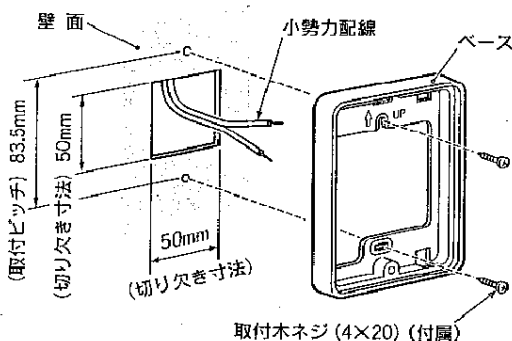


3 子器本体をサインポストの上部に引っ掛けてはめ込み、本体取付ネジで固定する。

サインポスト適合品

●SS型 ●SP型 ●GS型 ●ニューM型

壁面取付の場合



施工後の動作確認方法

●施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。